



2023年1月23日(月)
あいち航空ミュージアム
【指定管理者】
名古屋空港ビルディング株式会社
電話番号：0568-29-0283

航空写真家^{あかつかさとし}赤塚聡氏及び航空雑誌「航空ファン」と連携した 第5回あいち航空ミュージアムフォトコンテストを開催します

あいち航空ミュージアムでは、航空機の仕組みを楽しく学び、愛知県の航空機産業を知っていただけるよう、様々なイベントを多数企画しています。

この度、航空写真家として著名な赤塚聡氏及び航空雑誌「航空ファン」と連携した第5回フォトコンテストや作品展示、トークショー等を下記のとおり開催します。

御家族、御友人もお誘い合わせの上、是非お越しく下さい。

記

1 フォトコンテスト及び作品展示

(1) フォトコンテスト

航空機に関するフォトコンテストを開催します。

募集期間：2023年2月11日(土・祝)から3月12日(日)午後5時まで

募集部門：A 民間機(旅客機)部門

(航空会社で使用している旅客機)

B 民間機(その他)部門

(企業・個人所有の航空機や貨物機等、旅客機以外の民間機)

C 官用機(自衛隊機)部門

(自衛隊所属の航空機)

D 官用機(その他)部門

(警察・消防・防災・ドクターヘリ等の任務についている航空機や他国の官用機等)

E 航空関連施設・車両等部門

(管制塔、滑走路、気象レーダー等航空関連施設や飛行場で働く車両等)

応募条件：1人1点。2020年1月以降に撮影した未発表作品に限ります。

応募方法：応募開始日に開設されるあいち航空ミュージアム Web ページの「第5回あいち航空ミュージアムフォトコンテスト」エントリーフォームに必要事項を御記入の上、写真デジタルデータを添付して御応募ください。

※写真データは、2,516×3,544ピクセル900万画素相当以上(推奨)、拡張子はJPEGに限ります。

あいち航空ミュージアム Web ページ <https://aichi-mof.com>

入 賞：最優秀賞（全応募作品から1点）、部門優秀賞（各部門1点、計5点）、
審査員特別賞（各審査員賞1点、計4点）、佳作（25点程度）

審 査 員：航空写真家 赤塚聡氏

「航空ファン」編集長 じんのゆきひさ 神野幸久氏

ブルーインパルス元飛行班長 よしだしんや 吉田信也氏

あいち航空ミュージアム館長 すずきしんじ 鈴木真二

結果発表：2023年4月下旬に入賞作品を決定し、あいち航空ミュージアム Web ページ
(<https://aichi-mof.com>) で発表します(賞品は受賞者宛てに順次発送)。

【参考】第4回フォトコンテスト入賞作品



最優秀賞「虹の源」
(撮影者：藤田元一様)



部門優秀賞(D)「答礼航過」
(撮影者：高島宗昭様)

(2) 作品展示

フォトコンテストの入賞作品を展示します。

展示期間：2023年4月29日（土・祝）から6月25日（日）まで

※期間中、閉館日は除く

展示場所：1階「“飛行”の教室」西側通路及び壁面

展示作品：写真展示 35点程度

※応募作品（入賞作品を除く）についてもTVモニターで展示予定

※フォトコンテストの応募方法、作品展示の詳細は、あいち航空ミュージアムの Web ページ (<https://aichi-mof.com>) を御覧ください。

2 フォトコンテスト審査員による審査講評及びトークショー

フォトコンテストの審査員である航空写真家の赤塚聡氏及び「航空ファン」編集長の神野幸久氏による審査講評や、航空機写真の撮影のコツなどに関するトークショーを開催します。

日 時：2023年4月29日（土・祝） 午後1時30分から午後3時まで

場 所：1階 フライングボックス前ステージ
着席スペースには椅子 40 脚を用意します（立ち見も可）。
内 容：入賞作品の講評、航空機撮影のコツなど

3 その他

イベントの参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

審査員略歴等（※敬称略）

【赤塚聡】

1966 年岐阜県生まれ。航空自衛隊に勤務後、カメラマンに転向。前職の経験を生かし、主として官用機の撮影を得意分野とし、同乗による空撮も手がける。現在、航空専門誌などに作品を発表する傍ら、各種カレンダーの制作、撮影等を担当する。



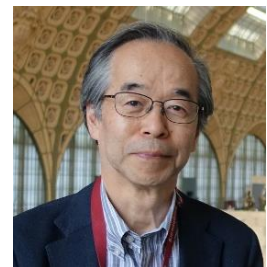
【吉田信也】

1960 年熊本県生まれ。1980 年に航空自衛隊航空学生第 36 期生として入隊。第 303 飛行隊及び第 302 飛行隊において、F-4EJ 戦闘機操縦者として勤務した。2004 年には宮城県松島基地の第 11 飛行隊（ブルーインパルス）飛行班長兼 1 番機編隊長として務めた。



【鈴木真二】

1953 年岐阜県生まれ。1979 年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。豊田中央研究所から、東京大学助教授を経て、大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授へ。2019 年から東京大学未来ビジョン研究センター特任教授並びに名誉教授を務める。2017 年 11 月 30 日の開館当初からあいち航空ミュージアム館長を務める。



【航空雑誌「航空ファン」】

1952 年 11 月に創刊した日本の月刊航空専門誌。写真や模型の愛好家に加え、官民の航空関連業界で働くプロフェッショナルにも読者が多い。特に有名カメラマンによる、世界の最新航空機の迫力あるフォトリポートは定評があり、海外にも多くの読者を持っている。



4 新型コロナウイルス感染防止対策について

あいち航空ミュージアムでは、「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて、「3つの密（密閉・密集・密接）」への対策を始め、消毒・除菌作業の実施など、様々な感染防止対策を実施しています。

○主な感染防止対策

- ・大型換気扇の使用や排煙窓の開放、大扉の開放などにより、換気を実施
- ・館内各所に手指用消毒液を設置
- ・お客様が直接触れる機会の多い場所の定期的な除菌作業
- ・受付カウンターに飛沫感染防止用のアクリル板を設置
- ・お客様へのサーモグラフィーや非接触型体温計による検温の実施、体調等の確認
- ・スタッフの勤務前の検温・体調確認、勤務中のマスク等の着用

※その他感染防止対策や最新の情報については、あいち航空ミュージアムのWebページ (<https://aichi-mof.com>) から御確認ください。

5 イベントに関するお問合せ先

あいち航空ミュージアム

電話 0568-39-0283

<参考：あいち航空ミュージアムについて>

○施設概要

場 所：西春日井郡豊山町大字豊場（県営名古屋空港内）

設置日：2017年11月30日

設置者：愛知県

指定管理者：名古屋空港ビルディング株式会社

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（最終入館は午後4時30分まで）

休館日：火曜日（祝日、または振替休日の場合は翌日）

2023年2月13日（月）から17日（金）まで臨時休館



[あいち航空ミュージアム外観]

○入館料 ※未就学児は無料

区分	一般	高校・大学生	小・中学生
個人※1	800円 (通常は1,000円)	640円 (通常は800円)	400円 (通常は500円)
団体(20人以上)	800円	640円	400円
年間パスポート	4,500円	3,500円	2,000円

※1 個人料金は、2021年4月1日から2023年3月31日まで団体料金相当額（2割引）となります（2022年3月4日愛知県発表済み）。

○その他

- ・日にち、条件により貸切利用も可能です。
- ・あいち航空ミュージアムには専用の駐車場がありませんので、公共交通機関を御利用ください。

○開催中イベント

- ・2023年4月9日（日）まで、開館5周年記念特別企画展「Always with Blue～大空への憧れをブルーインパルスと共に～」を開催しています（2022年10月24日愛知県発表済み）。

○Web ページ

<https://aichi-mof.com>